

令和5年度自己評価シート

粟生幼稚園

1. 本園の教育目標

自然農園・体操・音楽の三本柱を中心に保育計画を立て、子ども達が無理なく達成できる様な指導を行う。

- ・大きな声であいさつができる。
- ・友達と仲良く遊べる。
- ・人の話をしっかりと聞くことができる。
- ・戸外で元気に遊ぶことができる。
- ・素直に“ありがとう”と言える。
- ・伸び伸びと自己表現ができる。
- ・自然に親しみ動植物をいたわることができる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

設定した評価項目に沿って、自己評価をすることにより、教職員自らが客観的に自園を再確認し、保育内容等の改善を主体的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員は園の教育目標を理解し計画的に環境を準備し、保育の充実を図る。	本園の教育課程の再確認や見直しを通じて理解を深め、園長・主任でねらいをたて保育に反映させている。
子どもの主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活ができる様にする。	諸行事の後やいろいろな機会をとらえ、コミュニケーションの楽しさを味わえる様にしている。自然物や素材を楽しめる様にしている。
子どもの実態を的確につかみ具体的に手立てを講じ保育を進める。	教職員は日々保育記録を参考にし、子どもの実態を把握し、各学年で月案・週案・日案の作成に反映させている。
保護者との対話・連絡などコミュニケーションをはかり、問題が生じた時は全職員で対応する。	保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ、保護者からの訴え・要望・意見については全職員に報告・相談をしている。
教職員間の連携を充分にはかり資質・教育向上のために研修等に積極的に参加する。	園外の研修に積極的に参加している。又職員会議等において伝達し、共有化を図る様にする。
子育て支援、子育て相談体制の充実に努める。	預かり保育を実施し、保護者の急な用事等に対応する。未就園児クラスからの引き続いた相談に対応している。
感謝する気持ちをもつようにする。	感謝の言葉が習慣化する様、日常保育でその機会を多く持つ様にしている。
教育現場に於ける感染症対策を積極的に行う様にする。	園児・職員の行動状況を十分に把握し消毒方法を周知徹底する様にしている。年間に於ける、保護者参加の行事を行っている。その時の感染症対策として、消毒・検温・マスク着用を徹底している。5月より新型コロナウイルスが5類に移行され、感染症対策を緩和している。マスク着用のお願いや、消毒を入口に置いておく様にした。

4. 具体的目標や計画の総合的な評価結果

教職員一人ひとりが幼稚園評価の主旨を理解し、適切に自己点検及び自己評価に取り組むことができた。又、施設面では環境整備に力を入れており、改修工事後、職員や業者が安全面を話し合いマットの補強、ボルトの安全確認をした。子ども達が安心・安全に遊べる環境になる様に努力しており、改善が図れる様になった。昨年に引き続き、感染症対策を保護者と共に職員が情報を共有し、感染拡大を防ぐ努力をした。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
資質向上のための充実した研修	年間を通した計画的な研修を積み重ねる事により、質の高い内容を教職員が共有する。
情報公開の方法	現在ホームページや園だより、参観日などを通して保護者への通知・案内には取り組んでいるが、情報発信していく内容をより詳しく出来る様に検討していく。
教育課程・指導計画の編成	子ども達により良い教育を提供する為に現状の教育課程・指導計画にとどまらず、子どもの実態に即し、寄りそった教育を行う。
連携のとれる環境づくり	全員のコミュニケーションが密になるよう、朝礼・終礼以外に月1~2回程度決め、課題を話し合ったり、新しいアイデアを検討する時間を作る。
安全管理	毎学期の避難訓練（火災・地震・不審者侵入）の他、防災訓練や交通安全指導等も関係機関と連携し、取り組んでいきたい。 怪我の発生防止のためにも、安全な環境構成、危険対象などについて、再確認する。 防犯カメラの設置や遠隔監視の導入等、ハード面での整備の再確認をする。 昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大には留意し、5類に移行した後での、感染症対策を園児・保護者・職員の安全を守るべく、その時々に応じて最大限の努力をしていく。